

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) チイキセイサクガクブ	フリガナ) ワカバヤシゼミナール
高崎経済大学	地域政策学部	若林ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) ワカバヤシゼミビー	フリガナ) フジヤマヒカゲ	4	無
若林ゼミ B	藤山 緋景		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

シェアで広がる安全の輪～群馬県にカーシェアリングを広めよう～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私達が住む群馬県は自動車事故率・保有率が全国的にみて非常に高い。データ以外にも、私達が日常生活を送る中で自動車による危険を感じることは少なくない。そこで、ここ数年日本でも注目を集めているカーシェアリングを利用して解決できると考え、このテーマに設定した。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

群馬県は各インターネットサイトにおいて、群馬県の自動車事故率はランキング上位を占めている。

1987年にスイスで始まったカーシェアリングシステム。日本ではまだまだ知名度は低く利用者もわずか0.2%にとどまっている。日本でも東京、名古屋、大阪、神奈川などの都市でタイムズカープラスを始め様々な企業によってカーシェアリングサービスが少しずつ普及してきている。そして、群馬県は各インターネットサイトにおいて、群馬県の自動車事故率はランキング上位を占めている。

3. 研究テーマの課題

群馬県以外の自動車事故率が高い都道府県は、大半が愛知県や福岡県、東京都などの大都市である。群馬県が

大都市でないにもかかわらず自動車事故率が高い理由は諸説考えられるが、私達はその中で自動車の保有率が高いことに焦点を当てた。

群馬県の自動車の保有率は～で高い。また、群馬県には「自動車がないと移動できない」「高校を卒業したらだいたい免許を取得する」「1人1台、1世帯の持つ台数も多い」などという実感を持つ住民も多く、その自動車文化は県民に深く浸透している。

そこで、保有台数が少なくなれば必然的に事故率も減少に向かうと考え、どうしたら所有率を下げられるかという課題に至った。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私達は、自動車の保有率を下げる取り組みとして、現在注目されてきてはいるが、日本ではまだ事例の少ないシェアを軸にしたサービスを推奨する。私たちは高崎経済大学の学生同士による個人間カーシェアリング「Kuru Match」を提案する。アンケートによる意見を参考にして高崎経済大学の学生に合ったモデルを考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

大学生 100 人に対して、カーシェアリングについてアンケートを実施しました。また、国内のカーシェアリングを提供している企業にメールで質問をしました。

6. 結果や今後の取り組み

この提案を通して高崎経済大学の学生にカーシェアリングを広め、徐々に高齢者、そして群馬県に広めていきたいと考えています。そして、車を「所有するもの」から「共有するもの」という考えを浸透させ、群馬県の車の所有率を下げることで自動車事故を減らすことにつながると考えています。

7. 参考文献

anyca ホームページ

<https://anyca.net/>

notteco ホームページ

<https://notteco.jp/>

cafore ホームページ

<http://cafore.jp/>

みんなの学校新聞

<http://np-schools.com/news/548>

群馬県警察

<https://www.police.pref.gunma.jp/koutuubu/06kanri/kanri03.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も

同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください